

Red Hat ラーニングサブスクリプション (RHLS) Basic クイックスタートガイド

Red Hat®ラーニングサブスクリプション Basic へようこそ。RHLS Basic 利用者は、すべての Red Hat トレーニングをご自身のペースで 1 年間アクセスできるほか、以下の機能にもアクセスできます。

- 開発中のコースへのアクセス
- クラウドベースのラボ - Red Hat 環境での 400 時間の実習
- テキストのダウンロード - 1 サブスクリプションあたり 10 回まで

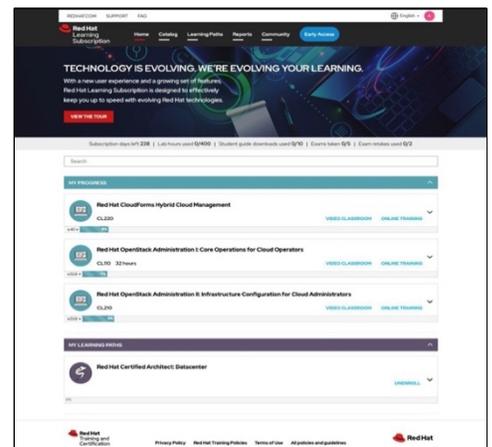
ログイン

<https://rol.redhat.com/rol/app/>

から Red Hat ユーザー名でログインしてください。

ホームページ

サインインすると、ホームページにはコースの再開、コースの進捗状況の確認、および学習目標の設定のためのダッシュボードが表示されます。コースを開始するか、ラーニングパスを選択すると、ホームページから使用可能になります。学習中のすべてのコースを確認できるため、復習や今後のコースの確認が簡単にできます。



ホームページには、注目すべき機能が他にもあります。

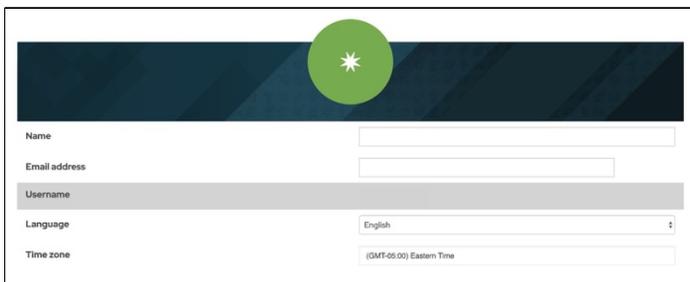
進捗状況トラッカー：ラボ時間とテキストのダウンロードのトラッカー

Subscription days left **218** | Lab hours used **0/400** | Student guide downloads used **0/10** | Exams taken **0/0** | Exam retakes used **0/0**

言語：右上の言語を選択すると、プラットフォームのインターフェースがその言語に変わります。選択した言語での翻訳がある場合には、コースのコンテンツも更新されます。翻訳が存在しないときには、コースは英語に設定されます。多くのコースは、さまざまな言語での翻訳が利用できます。それぞれのコースで言語を選択すると、その設定は全体の設定とは別に保存されます。



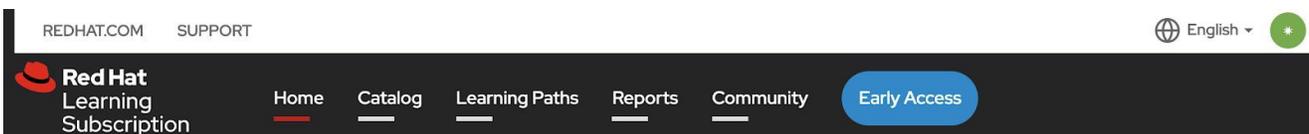
プロフィール：画面右上の星印をクリックすると、下記のフィールドに限り、プロフィール情報を更新できます。名前を更新すると、星印がイニシャルに更新されます。



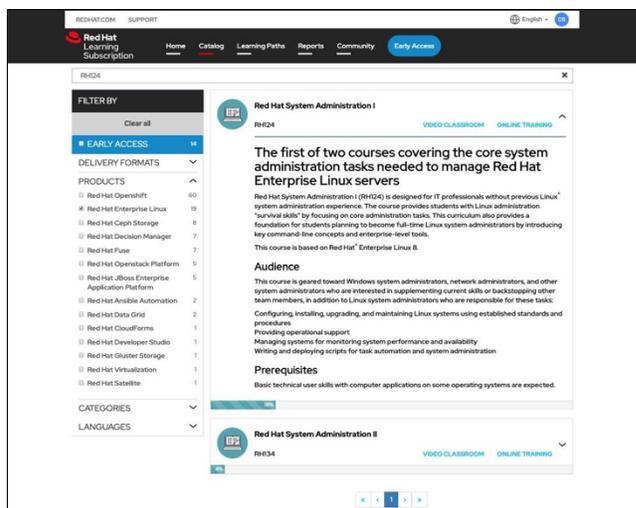
Name	<input type="text"/>
Email address	<input type="text"/>
Username	<input type="text"/>
Language	<input type="text" value="English"/>
Time zone	<input type="text" value="(GMT-05:00) Eastern Time"/>

メニューの概要

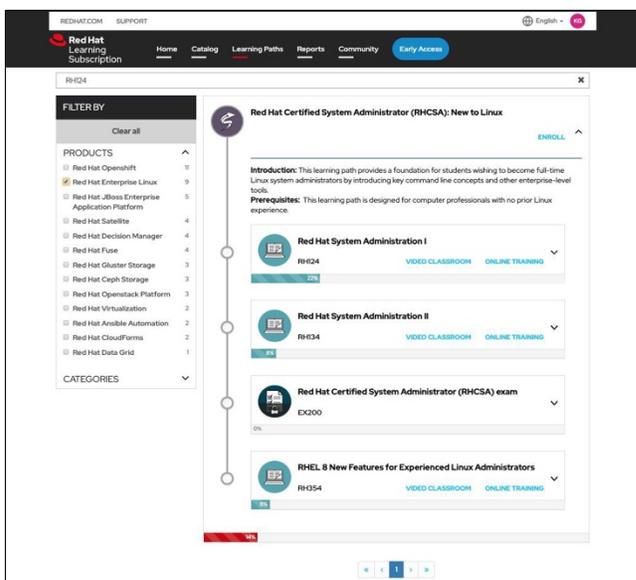
このセクションでは、RHLS の各ページについて説明します。



カタログ：ここには、コース、エキスパートセミナー、認定試験など、RHLS のすべてのトレーニングコンテンツのリストが表示されます。検索バーから、キーワードでコンテンツを検索できます。また、検索結果を配信形式、製品、カテゴリ、言語で絞り込むため、トレーニング目標に合った正確なコンテンツを簡単に絞り込むことができます。



ラーニングパス：Red Hat 認定を獲得するためのロードマップが表示されます。各ラーニングパスは、関連する製品または受講者のスキルごとに異なっています。現在、18 のパスがあり、大まかなスキルの習得や、認定獲得に向けて利用できます。



レポート：ここでは、コースの進捗状況、ラボの使用状況、および認定試験の登録状況を確認できます。また、このページからレポートをダウンロードできます。

コミュニティ：このリンクをクリックすると、[Red Hat ラーニングコミュニティ \(RHLC\)](#) のページをご参照いただけます。これは、技術的スキルの提供、学習、構築、適応のサポートを目的としたオープンでコラボレーティブなラーニングプラットフォームです。メンバーになって、他の学習者や RHLS 利用者とながらみましょう。ログインすると、ディスカッションへの参加、質問の投稿、バッジのアンロック、ラーニングビデオのプレビュー、ベストプラクティスの共有、Red Hat 製品のマスターに意欲的な技術者との交流などが可能になります。Red Hat ラーニングコミュニティを活用して、RHLS での学習を補足し、オープンソース学習を進めましょう。

Early Access(初期アクセス-開発中のコース) : Red Hat トレーニングは継続的に新しいコンテンツを開発しています。**Early Access** により、利用者は開発中のコースに、一般公開前にアクセスできます。コンテンツを試用して、フィードバックすることができます。この開発中のコースは、頻繁に変更されます。新しいコースは開発されるごとに追加され、全コースが完成すると、一般のコースカタログに移動されます。

ダッシュボード : ダッシュボードは、コースの進捗状況、ラボの使用状況、試験のステータスに加えて、学習したトレーニングコンテンツの量と合計時間に関するデータを提供します。これらのレポートをダウンロードすることができ、マネージャーと共有することも可能です。

サポートとコーチング

- **サポートに連絡** : テクニカルサポートが必要な問題が発生したとき、たとえば、ラボが正常に動作しない場合などには、ポータルの上左角のサポートをクリックして、サポートケースを開きます。スタッフが **RHLS** の管理を技術レベルからサポートします。
(日本語対応可能)
- **Red Hat アドバイザー** : トレーニングスペシャリストが1年を通じて定期的に電話やメールで連絡して、トレーニング目標の達成をサポートします。トレーニングスペシャリストは **Red Hat** トレーニングの主な連絡先となり、質問に答えたり、デモを実行したりします。時期が来ると、トレーニングスペシャリストは **RHLS** の更新をお手伝いします。

学習の開始

実際のトレーニングと認定試験にアクセスする方法について説明します。

ラーニングパスの登録 : 自身の学習と認定資格取得のために最適なパスを選択してください。パスを登録すると、ホームページの「マイラーニングパス」セクションに追加されます。

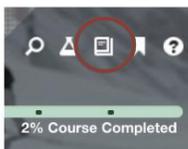
ラーニングパスを展開すると、次のものが表示されます。

- パスを構成するコースと認定試験
- 各コースの詳細、前提条件、対象者
- パス内のコースの完了率
- パス全体の完了率

コースの受講を開始するときには、コースと教材について注意すべきことがいくつかあります。

- **テキストのダウンロード** : 1年間の **RHLS** 受講期間中、合計 10 回までのテキストをダウンロードできます。コースを起動すると、ビデオクラスルーム画面の上に小さなテキストブックアイコン、またはオンラインラーニングの場合はコース名の横にダウンロード矢印が表示されます。

Video classroom

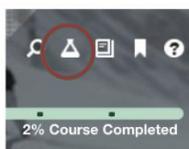


Online learning

CL210 Red Hat OpenStack Administration II: Infrastructure Configuration for Cloud Administrators

- **ラボ**：各コースにはそれぞれラボ環境が用意されていて、学習にあたって練習教材に取り組むことができます。コースを開始したときには、他の教材に取り組んでいる間に、ラボを準備してください。ラボによってはロードに時間がかかるため、このようにすると、必要なときにすぐに使用できます。ラボはビデオコース内のビーカーアイコンや、オンライントレーニングコース内のオンラインラボタブから実施できます。

Video classroom



Online learning



- **受講証明書**：各コースには受講証明書があり、コースの85%を完了するとダウンロードできます。コースページの上部に表示されるダウンロードボタンをクリックしてください。



ラーニングオプションのプレビュー：RHLS 内には、2種類のコースタイプがあります。それぞれのバージョンを切り替えることができますが、コース完了証明書を取得するためには、どちらかを85%以上完了する必要があります。

- **ビデオクラスルーム**：高解像度のビデオでインストラクターが教材について説明し、ラボでの実習ができます。
- **Online トレーニング**：各コースはビデオと同じ教材に沿って進められ、インタラクティブなテキストブック形式になっています。

詳細について

RHLS の詳細については、Red Hat ラーニングサブスクリプションの [FAQ](#) をご覧になるか、training-jp@redhat.com にお問い合わせください。